

簡易な収入見込額の申立書(申請者本人用) 【家計急変者】

○「低所得のひとり親世帯応援給付金申請書(請求書)」と一緒にご提出ください。

○下記にある【要件1】及び【要件2】の両方を満たす場合に支給の対象となります。

※申請者と生計を同じくする扶養義務者などがある場合は、その方の年間収入見込額も勘案して支給を決定します。

①下記にチェック(☑)してください。

食費等の物価高騰の影響により、家計が急変しました。

→【要件1】①にチェックが入っていること。

※申請者または申請者と生計を同じくする以下の方が食費等の物価高騰の影響で、家計が急変した場合にチェックしてください。

- ・ 申請者の配偶者
- ・ 申請者の父母、祖父母、子、孫などの直系血族または兄弟姉妹

(※)申請者本人が児童の父または母の場合は、これらの方が申請者と同居していることが原則となります。

※上記の申請者と生計を同じくする方がいる場合には、「簡易な収入見込額の申立書(扶養義務者等用)」も併せてご提出ください。

②申請者の令和8年1月以降の任意の月の収入(1か月)の内訳及びその合計額をご記入ください。

令和__年__月		円										注意事項	
収入内訳	養育費【A】												※養育費の支給を受けている場合にご記入ください。
	給与収入【B】												※給与収入がある場合にご記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類をご提出ください。
	事業収入又は不動産収入【C】												※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※帳簿などの収入額が分かる書類をご提出ください。
	年金相当収入【D】 (a-b)												※年金収入【a】-児童扶養手当相当額【b】で計算した額をご記入ください。
	年金収入【a】												※公的年金収入がある場合にご記入ください。 ※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等も含まれます。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。
	児童扶養手当相当額【b】												※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等を有する場合、児童扶養手当相当額早見表を確認いただき、該当する金額をご記入ください。
収入合計額【A+B+C+D】													※青枠の収入額の合計額をご記入ください。

※上記以外の収入については記載不要です。

※児童扶養手当相当額早見表(月額)

申請日時点での児童数	支給額(月額)
児童0人	0円
児童1人	11,010円
児童2人	16,530円
児童3人	22,050円
児童4人	27,570円

※5人以上いる場合は、1人増えるごとに5,520円(月額)を加算してください。

×12

③の収入合計額を12倍した金額をご記入ください。

年間収入見込額													円
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

→扶養親族が1人の場合には、③が385万円未満であれば【要件2】を満たすため、④の記載は不要です。

